

定時総会報告事項

資料—A

2010 年度事業報告

自:2010 年 4 月 1 日

至:2011 年 3 月 31 日

I. 概況と活動総括

2010 年度は世界同時不況の直撃から立ち直り、新興国特に中国・インド向け受注額が過去最高を記録し国内の沈滞をよそに大きく回復しました。鍛圧機械の受注総額は 2721 億円、前年度比 92.2%増の急回復となりました。

このなかで 3 月 11 日東日本大震災が発生し多くの方が被災されました。被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。またお客様の生産復旧に向け特別体制を組み活動されている会員の方々に深く敬意を表明いたします。

一方、各委員会や各部会にて 2010 年度重点課題に取り組みました。

- ① MF 技術大賞を創設し、トータルでエコな製品製作に顕著な成果を上げた企業群をまとめて表彰し、鍛圧機械産業の実力を PR する制度を新設し、13 応募製品から 3 製品を表彰いたしました。
- ② ISO/TC39/SC10 国際会議においてプレス機械の国際規格 (IS) 化が決定し、WG1 が設けられることになり、当会として代表を派遣し日本のサーボプレス JIS 規格の採用を働きかけました。
- ③ 動力プレス機械構造規格の改正にあたり会員への事前説明会や問題点への対応を行いました。
- ④ MF エコマシン認証制度による認証を継続して実施しました。
- ⑤ 受注調査統計は全会員対象の月次統計に 2009 年 1 月度より移行しましたが、稼働日ベース翌月 6 日目で会員へ結果報告が出来るようになりました。
- ⑥ MF-Tokyo2011 プレス・板金・フォーミング展の出展を勧誘し、出展 138 社、877 小間のご参加となりました。東日本大震災の災害復旧や電力抑制などありますが、「日本を元気に！そして世界を」をモットーに最新の鍛圧塑性加工技術を広げ、産業振興を図っていきたいと考えています。
- ⑦ 職員の加入している「東京機器厚生年金基金」の受給資格取得は勤続 15 年が必要であり当会では最近 30 年間は該当者がいません。また昨年度の総会決算の会計方針に記載したとおり大きな隠れ負債があることが判明いたしました。今後も実年世代を中心に採用することから、理事会にて脱退を決議し届けを提出いたしました。しかし年金基金の代議員会で「脱退は一切認められない」として否決となりました。脱退拠出金約一千万円の支払いを了解しているにも拘わらず否決は理不尽として、厚生労働省に指導を求め、2 回にわたって基金を呼び出し指導してくれましたが、結論は変わりませんでした。今後も脱退を継続して申請いたします。

II. 総会・理事会・委員会・部会の活動

(総会・理事会は移行後の通算回数表示、委員会等は 2 年任期での通算回数表示です。)

1.総会(議長・春山紀泰代表理事会長／エイチアンドエフ 1回開催)

第2回定時総会(5月20日) 芝パークホテルにおいて開催

議事① 2009年度事業報告書(報告)

② 2010年度事業計画書並びに正味財産増減予算書(報告)

③ 2009年度決算書の承認(決定)

④ 賛助会員制度廃止の定款変更(決定)

⑤ 7年平均売上高による会費規則の改訂(決定)

総会終了後、同ホテルにおいて懇親会を開催しました。

2.理事会(議長・春山紀泰代表理事会長／エイチアンドエフ 5回開催)

第6回(4月20日) 書面にて開催

審議① 2009年度事業報告書の最終承認(決定)

② 2010年度事業計画書及び正味財産増減予算書の最終承認(決定)

③ 2009年度決算書案の承認(案決定-総会決定事項)

第7回(7月22日) 機械振興会館において開催

審議① アイダ坂木雅治氏に特別顧問委嘱(決定)

② 東京機器厚生年金基金からの脱退承認(決定)

③ 競争法コンプライアンスと守秘義務規則(決定)

④ 役員賠償責任保険契約先変更(決定)

⑤ 正会員入会承認と副委員長、副部会長委嘱(決定)

⑥ 賞与引当金制度導入(決定)

⑦ 低炭素投資促進法の社団法人への賛助会員不参加(決定)

⑧ 素形材センターの素形材月間への協賛金負担拒否(決定)

⑨ MF技術大賞表彰盾の選定(決定)

⑩ 各委員長・部会長の活動報告

第8回(11月12日) 機械振興会館において開催

審議① MF技術大賞受賞3製品(決定)

② 東京機器厚生年金基金からの脱退否決への対応(審議)

③ 個人情報保護方針の制定(決定)

④ 正会員入会承認(決定)

⑤ 動力プレス機械構造規格の一部改正の状況(報告)

⑥ 各委員長・部会長の活動報告

第9回(1月25日) 機械振興会館において開催

審議① 会長再任可への定款変更と理事就任時70歳未満の改訂(否決)

② 東京機器厚生年金基金からの脱退否決へのその後の対応(審議)

③ 各委員長・部会長の活動報告

第10回(3月3日) 機械振興会館において開催

審議① 2010年度事業報告書案(概略決定)

② 2010年度決算書案(概略承認-総会決定事項)

③ 2010年度公益目的支出計画実施報告書案(概略決定)

④ 2011年度事業計画案と2011年度予算書案(概略決定)

⑤ 役員候補者選出基準の改定(決定)

⑥ 委員会規則の改定(決定)

⑦ 東京機器厚生年金基金からの脱退状況(報告)

- ⑧ 正会員入会承認(決定)
- ⑨ 各委員長・部会長の活動報告

3.監事監査

2009 年度実績会計監査(4 月 13 日) 機械振興会館において開催
三須肇監事、木村今朝雄監事の全監事出席で監査実施。

4.正副会長会(議長・春山紀泰代表理事会長／エイチアンドエフ 3 回開催)

第 4 回会議(4 月 15 日) 芝パークホテルにおいて開催

審議①「役員候補者選出基準」により、監事 1 名補充を検討(見送り)

② 2011-2012 の役員候補者選出方法(決定)

第 5 回会議(10 月 14 日) 機械振興会館において企画委員会と合同で開催

審議① 専務理事輪番制について(審議)

② 会長輪番制と理事就任 70 歳未満の改定について(審議)

③ 東京機器厚生年金基金からの脱退否決について(審議)

第 6 回会議(3 月 3 日) 機械振興会館において開催

審議① 次期役員人事について(案決定)

5.企画委員会(委員長・岡本満夫副会長／アマダ 3 回開催)

第 4 回委員会(7 月 1 日) 機械振興会館において開催

審議① 東京機器厚生年金基金からの脱退について

② 競争法コンプライアンスと守秘義務規則について

③ その他

第 5 回委員会(10 月 14 日) 機械振興会館において開催

審議①個人情報保護方針について

②MF 感謝状の申請方法について

③その他

第 6 回委員会(2 月 24 日) 機械振興会館において開催

審議① 2009 年度事業報告と 2009 年度決算書案について

② 2009 年度公益目的支出計画実施報告書案について

③ 2010 年度事業計画案と 2010 年度予算書案について

6.技術委員会(委員長・市川壽雄副会長・副委員長坂木雅治特別顧問／アイダエンジニアリング 管轄計 16 回開催)

(1)委員会 (2 回開催)

第 3 回委員会(7 月 8 日) 機械振興会館において開催

審議①鍛圧機械関係の国際規格化の動きについて

②メーカーのためのリスクアセスメントガイドラインについて

③各専門部会の活動について

④MF エコマシン認証制度レビュー

⑤MF 技術大賞 2010-2011 募集について

⑥サーボプレス JISB6410 安全規格の適合宣言制度

第 4 回委員会(11 月 25 日) 機械振興会館において開催

審議①改正構造規格等説明会の質問・意見に対する厚労省の回答について

②MF 技術大賞 2010-2011 受賞者決定について

- ③プレス機械関係の国際規格化の動きについて
- ④MF エコマシン認証制度の運営状況について
- ⑤各専門部会の活動について
- (2)動力プレス機械構造規格等説明会(11月5日)
厚生労働省労働基準局安全衛生部安全課より説明と質疑応答
- (3)MF エコマシン認証審議会
(委員長・柳本潤／東大教授、副・布施征男／省エネセンター部長 3回開催)
個別認証審議と追加機種の基本作成
第11回審議会(6月15日) 機械振興会館において開催
第12回審議会(9月9日) 機械振興会館において開催
第13回審議会(3月16日) 機械振興会館において開催(書面)
- (4)MF 技術大賞選考委員会と予備部会
(委員長・石川孝司／名大教授、部会長・柳本潤／東大教授、5回開催)
MF 技術大賞応募要領説明会(4月23日) 機械振興会館において開催
第4回予備部会(9月24日) 機械振興会館において開催
第5回予備部会(10月21日) 機械振興会館において開催
選考委員会(11月8日) 機械振興会館において開催
MF 技術大賞の選考協議
MF 技術大賞表彰式(1月12日) 芝パークホテルにおいて開催
- (5)ISO・WG 対策委員会(主査・斎藤剛／安衛研主任研究員、3回開催)
ISOでの日本側委員は斎藤剛主任研究員とコマツ産機の畑幸男グループ長、
アイダエンジニアリングの寺塚幸正マネジャー。
第2回WG 対策委員会(10月27日) 機械振興会館において開催
第3回WG 対策委員会(12月15日) 機械振興会館において開催
第4回WG 対策委員会(3月8日) 機械振興会館において開催
- (6)ISO・SC10・WG1 プレス機械安全規格会議 フランス、パリにて開催
第1回 2010年11月16～18日開催 斎藤剛氏と畑幸男氏出席
- (7)ISO・TC39・WG12 の工作機械(プレス含む)環境評価規格会議
第1回 2011年2月2～4日開催 寺塚幸正氏出席 ポルトガル ポルト開催
- (8)労働安全衛生法に基づく特定自主検査済標章の販売事業
中央労働災害防止協会作成の大小標章 50,328 枚(前年度 51,228 枚)を販売した。
- (9)エネルギー需給構造改革投資促進税制(エネ革税制)
基準該当サーボプレスの即時 100%償却適用で 2010 年度まで延長されている。
2010 年度は昨年度の 5 割増の 292 件(前年度 192 件)の証明書を発行しました。
なお東日本大震災の関係で 2011 年 6 月まで本制度は延長されました。
- (10)団体PL保険制度の加入状況
団体国内PL保険に会員 29 社が加入、団体海外PL保険に会員 20 社が加入。引
受幹事会社は三井住友海上火災保険㈱、代理店ワールドインシュアランスサービ
ス㈱

7.調査統計委員会(委員長・白井国康理事/山田ドビー 2回開催)

(1)委員会(2回開催)

第 3 回委員会(7 月 29 日) 機械振興会館において開催。

審議①統計月次化の報告発信日と参加状況について

②各委員による 2010 年受注修正予測とその根拠説明

③委員長による 2010 年修正予測まとめ

第 4 回委員会(12 月 10 日) 機械振興会館において開催

審議①月次業況調査結果報告日と締め切り時間について

②各委員による 2010・2011 年受注予測とその根拠説明

③委員長による 2011 年予測まとめ

(2) 調査統計の実施

①工業会の受注業況調査の充実

2009 年 1 月から開始した全会員ベース月次受注調査の集計結果は、今年度さらに 1 日早まり稼働日ベース 6 日目で会員にフィードバックする日程が定着した。

②暦年の鍛圧機械受注額予測の見直し開始(7 月)

前年 12 月に公表した 2010 年の鍛圧機械受注額予測を再検討し修正値を公表いたしました。

③国家統計の鍛圧機械部門の集計

(イ) 鍛圧機械の生産・出荷統計(経済産業省／機械統計)

(ロ) 鍛圧機械の輸出入統計(財務省／貿易月報)

8. 広報見本委員会(委員長・鈴木康夫副会長／コマツ 2 回開催)

(1) 委員会(2 回開催)

第 3 回委員会(5 月 27 日) 機械振興会館において開催。

審議①MF-Tokyo2011 の企画検討(申込、イベント、学会)

②MF-Tokyo での日本塑性加工学会の積極的参加と日本鍛造協会の参加

③日刊工業新聞社より概要説明

第 4 回委員会(12 月 1 日) 機械振興会館において開催

審議①MF-Tokyo2011 プレス・板金・フォーミング展の第一次締め切り結果報告

②MF-Tokyo2011 の今後の進め方

③独 EuroBlech と中国 ESTOPO 報告

出展者説明会(3 月 29 日延期) 機械振興会館において開催予定であったが、東日本大震災による交通混乱により 4 月 19 日に延期となりました。

①MF-Tokyo2011 プレス・板金・フォーミング展の出展要領説明

②MF-Tokyo2011 の小間割発表

(2) MF-Tokyo2011 プレス・板金・フォーミング展の概要

①8 月 3 日から 6 日まで 4 日間東京ビッグサイト東 4～6 ホールにて開催。

出展小間数 877 小間(前回 701 小間)

会員出展 58 社参加(61 社)、会員参加率 75.5%、全出展者 138 社(112 社)

来場者目標 35,000 人(27,162 人)。

②学会との連携

③ユーザ団体との連携

④出展者セミナーとアトリウムセミナー開設

(3) 海外展示会の調査

①SINTOS 2010-4-16～18 韓国ソウル、

KOMMA 韓国工作機械産業協会専務理事と会談

②EASTPO 2010-07-15～18 中国 上海

春山会長視察

③EuroBlech 2010-10-25～29 ドイツ ハノーバ

春山会長とシュラー社幹部およびトルンプ社幹部と会談

④CHIF 中国国際工業博覧会／NWCS 2010-11-12～14 中国 上海

楠田課長視察

⑤TIMTOS 台北国際工作機械見本市 2011-3-4～6 台湾 台北

TAMI 台湾区機器工業同業公会専務理事と会談

9. 中小企業経営委員会(委員長・森孝一理事／森鉄工 1 回開催)

第 3 回委員会(1 月 21 日) 機械振興会館において。

講演会:「中国人の考え方の基本／価値観を知る」

講師:TCA 東京事務所駐日代表 吉村章氏

終了後懇親会を開催。

10. 機種別専門部会

(1) 鍛造プレス専門部会

(部会長・高瀬孔平理事／住友重機械工業テクノフォート 4 回開催)

鍛造プレスの環境性能について

第 2 回部会(7 月 13 日) 機械振興会館において開催

第 3 回部会(8 月 11 日) 油圧プレス専門部会と共同開催

第 4 回部会(11 月 19 日) 機械振興会館において開催

第 5 回部会(2 月 8 日) 機械振興会館において開催

(2) 油圧プレス専門部会 (部会長・村上新一副会長／川崎油工 4 回開催)

油圧プレスの産業ビジョン作成について

第 4 回部会(4 月 6 日) 機械振興会館において開催

第 5 回部会(8 月 11 日) 名古屋にて石川先生の講演会

第 6 回部会(12 月 7 日) 機械振興会館において開催

第 7 回部会(3 月 8 日) 機械振興会館において開催

(3) プレスブレーキ専門部会 (部会長・前田彰理事／村田機械 4 回開催)

動力プレス機械構造規格改正によるプレスブレーキの安全対策啓蒙

第 1 回部会(6 月 8 日) 機械振興会館において開催

第 2 回部会(9 月 7 日) 機械振興会館において開催

第 3 回部会(11 月 16 日) 機械振興会館において開催

第 4 回部会(2 月 15 日) 機械振興会館において開催

(4) レーザ・プラズマ専門部会

(部会長・岡本満夫副会長、副部会長・末岡慎弘常務／アマダ 4 回開催)

レーザ加工機の作業安全者安全教育資料作成と講習会 2 回実施

第 4 回部会(5 月 25 日) 機械振興会館において開催

レーザ加工機取扱作業向け安全講習会(7 月 23 日) 東日本地区

受講者 69 名 機械振興会館において開催

第 5 回部会(9 月 15 日) 機械振興会館において開催

レーザ加工機取扱作業向け安全講習会(11 月 18 日) 西日本地区

受講者 60 名 名古屋国際センターにおいて開催

(5) 自動化・安全装置専門部会

(部会長・内田百馬副会長／オリイメック 9 回開催)

自動化装置の安全要求事項の工業会規格作成について

- 第3回部会（4月9日） 機械振興会館において開催
- 第4回部会（7月7日） 機械振興会館において開催
- 第5回部会（11月17日） 機械振興会館において開催
- 第4回分科会（4月9日） 部会と合同 機械振興会館において開催
- 第5回分科会（6月22日） 機械振興会館において開催
- 第6回分科会（8月26日） 機械振興会館において開催
- 第7回分科会（10月28日） 機械振興会館において開催
- 第8回分科会（12月14日） 機械振興会館において開催
- 第9回分科会（2月22日） 機械振興会館において開催

(6) サービス専門部会

（部会長・小森雅裕理事／小森安全機研究所 4回開催）

予防保守保全のすすめパンフレット作成（日・英・中）

保守保全作業を安全に実施するためにはパンフレット作成

- 第4回部会（4月26日） 機械振興会館において開催
- 第5回部会（9月28日） 機械振興会館において開催
- 第6回部会（11月30日） 機械振興会館において開催
- 第7回部会（2月23日） 機械振興会館において開催

11. 関東・中部関西地区部会

(1) 関東地区部会（部会長・相澤邦充理事／相澤鐵工所 1回開催）

（2月24日） 機械振興会館において開催。

講演会：「2011年、電気自動車の現在と未来」

講師：三菱自動車工業株式会社

EVビジネス開発部 上級エキスパート 和田憲一郎氏

終了後 懇親会開催

(2) 中部・関西地区部会（部会長・平井一憲理事／川副機械製作所 開催中止）

（3月17～18日） 岡山県において開催予定。

工場見学：「ナカシマプロペラ株式会社玉島工場」岡山県倉敷市

見学後、備中高原北房倶楽部にて懇親会・ゴルフ会（参加予定15名）の予定でしたが東日本大震災により中止いたしました。

12. その他の事業

(1) MF技術大賞 2010-2011表彰式（1月12日）芝パークホテルにおいて開催。

(2) 2011年新年賀詞交歓会（1月12日） 芝パークホテルにおいて開催。

Ⅲ. 会員異動状況

1. 会員の入会・退会・異動について

正会員退会

- 1. 株式会社福田鉄工所（2010年4月30日付退会）
- 2. アマダトヨー株式会社（2010年9月30日付退会）
- 3. レイメイプレス株式会社（2011年2月28日付退会）

賛助会員退会

- 1. TACO株式会社（2010年12月31日付退会）
- 2. 株式会社ティーエスエイチインターナショナル（2011年3月31日付退会）

3. 双葉電子工業株式会社（2011 年 3 月 31 日付退会）

正会員入会（賛助会員から昇格）

1. ソノルカエンジニアリング株式会社（2010 年 10 月 1 日付入会）
2. ロス・アジア株式会社（2010 年 10 月 1 日付入会）
3. 株式会社モリタアンドカンパニー（2011 年 1 月 1 日付入会）
4. 株式会社ファブエース（2011 年 1 月 1 日付入会）
5. 株式会社松本製作所（2011 年 1 月 1 日付入会）

正会員入会

1. 日本ムーグ株式会社（2011 年 1 月 1 日付入会）

参考 2011 年度入会 万陽株式会社（2011 年 4 月 1 日付入会）

以上により 正会員 4 月 1 日期初時点 73 社→2011 年 3 月 31 日現在 76 社
→(2011 年 4 月 1 日現在 77 社)
賛助会員 4 月 1 日期初時点 8 社→2011 年 3 月 31 日現在 0 社

2. 会員代表者の変更について

1. 旭精機工業株式会社（2010 年 6 月 29 日付届出）
旧会員代表者 白木 恒朋 専務取締役機械事業部長
新会員代表者 阿比留 憲史 常務取締役機械事業部長
2. 型研精工株式会社（2010 年 12 月 21 日付届出）
旧会員代表者 濱田 一男 代表取締役社長
新会員代表者 川島 政吉 代表取締役社長
3. 株式会社中島田鉄工所（2011 年 1 月 5 日付届出）
旧会員代表者 中島田 正徳 代表取締役社長
新会員代表者 中島田 正宏 代表取締役社長
4. 株式会社オプトン（2011 年 3 月 1 日付届出）
旧会員代表者 與語 照明 代表取締役社長
新会員代表者 増本 久司 取締役
5. トルンプ株式会社（2011 年 3 月 1 日付届出）
旧会員代表者 ハラルド ディカートマン 代表取締役社長
新会員代表者 浜川 善和 取締役副社長

3. 社名変更について

旧社名 株式会社東洋工機
新社名 株式会社アマダトーヨー（2010 年 7 月 1 日付）

4. 役職辞任について

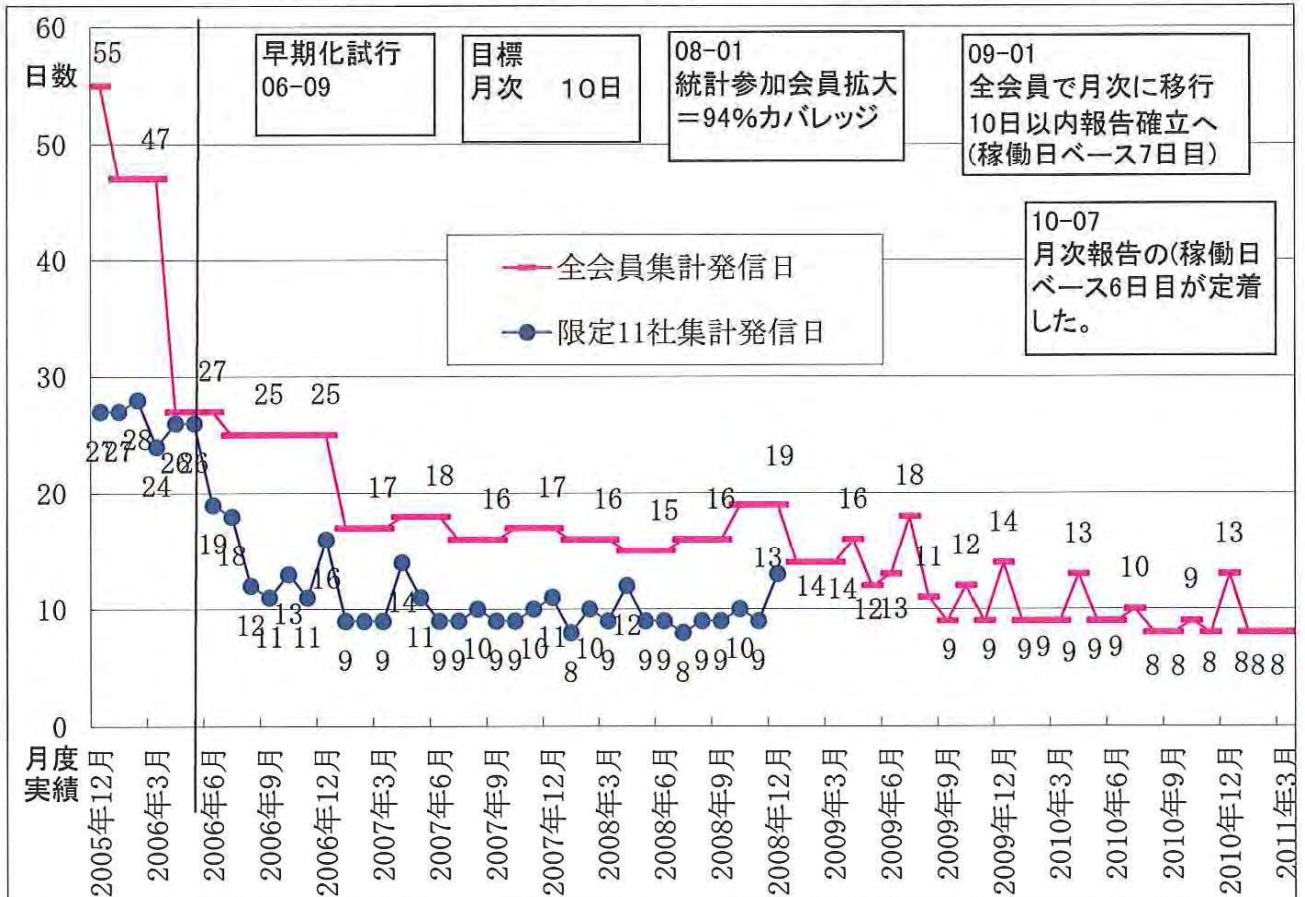
岡本 満夫 副会長及び企画委員会委員長辞任(2011 年 3 月 31 日付)

以上

[illegible]

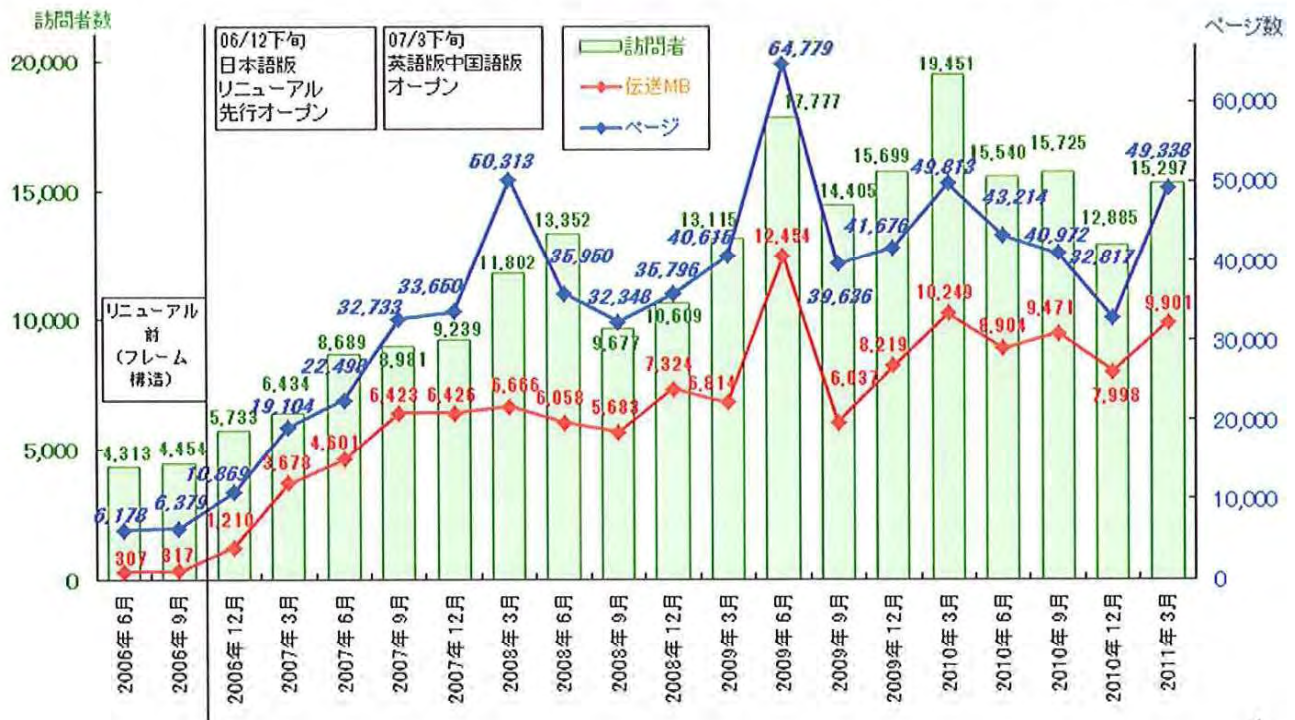
日鍛工 受注統計調査 全会員での月次移行(発信所要日数推移)

統計早期化と報告会員増加(94%カバレッジ)し、更に四半期会員も月次へ移行を2009年1月から実
今後1~2年かけて10日報告を目指すとしたが、早期に移働日6日目に集計結果報告が定着した。



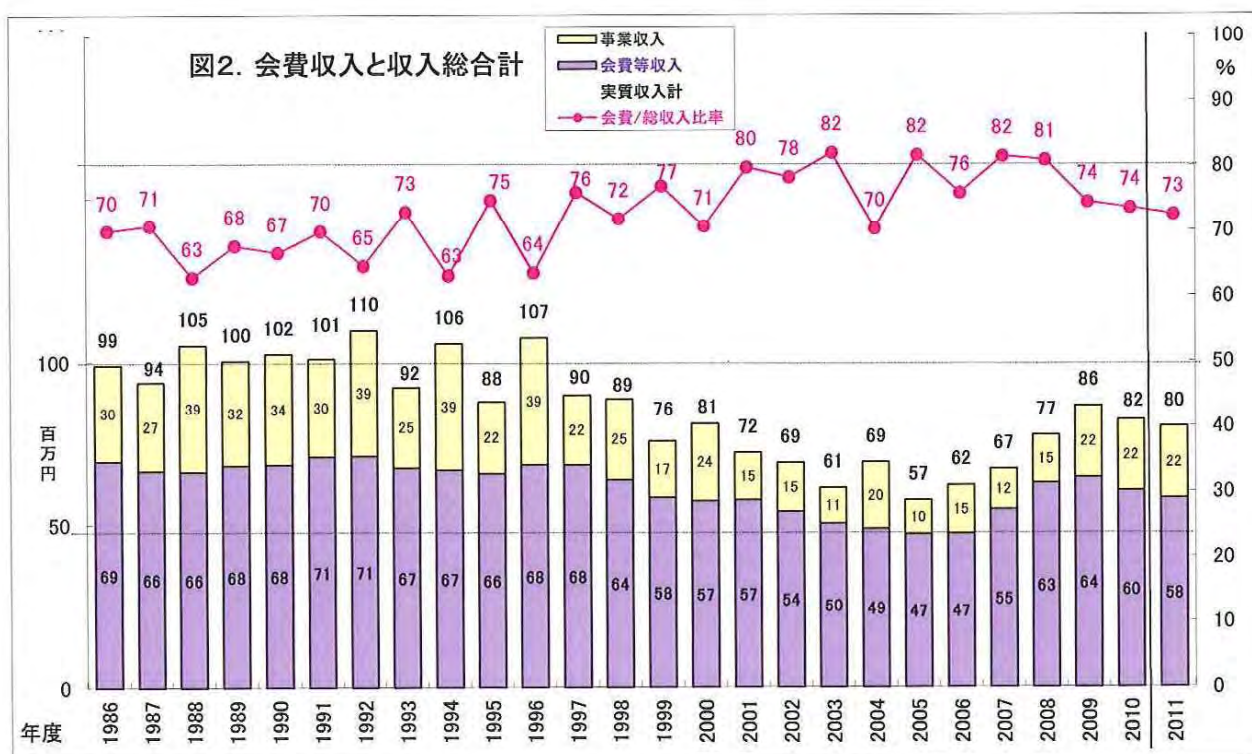
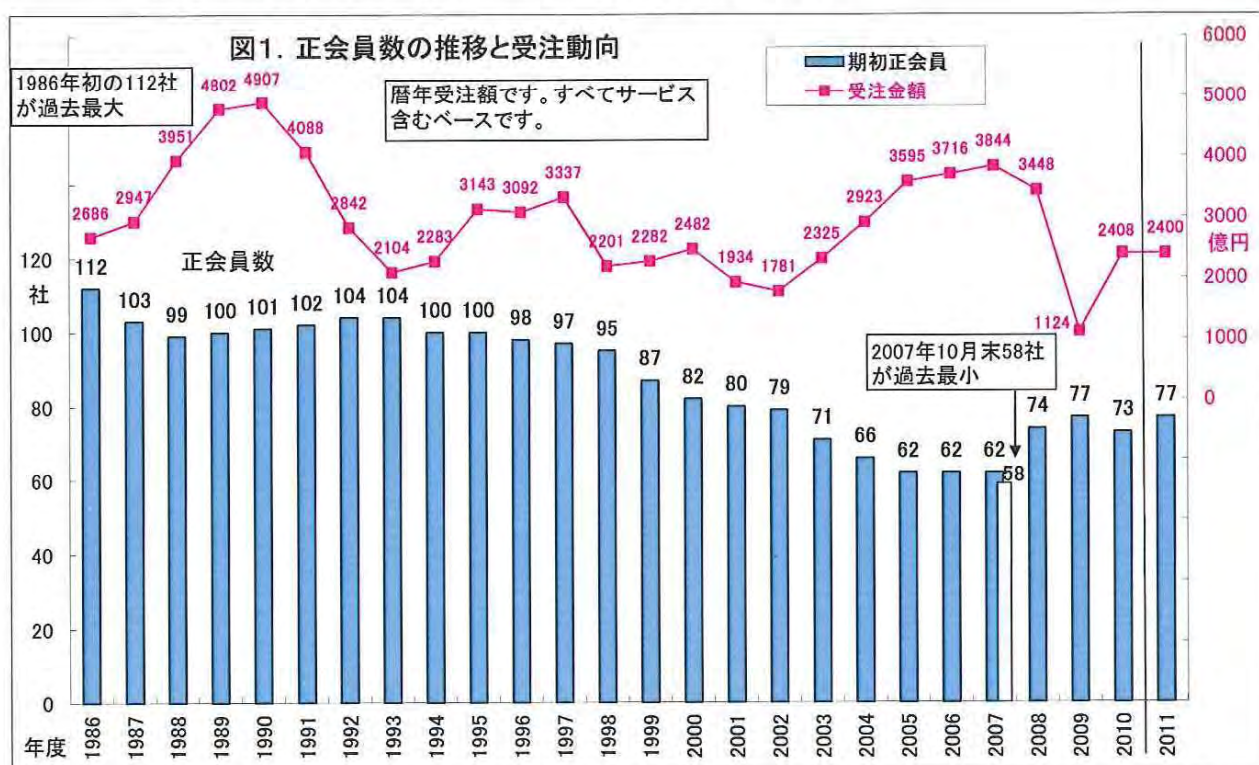
日鍛工 ホームページへのアクセス数の推移

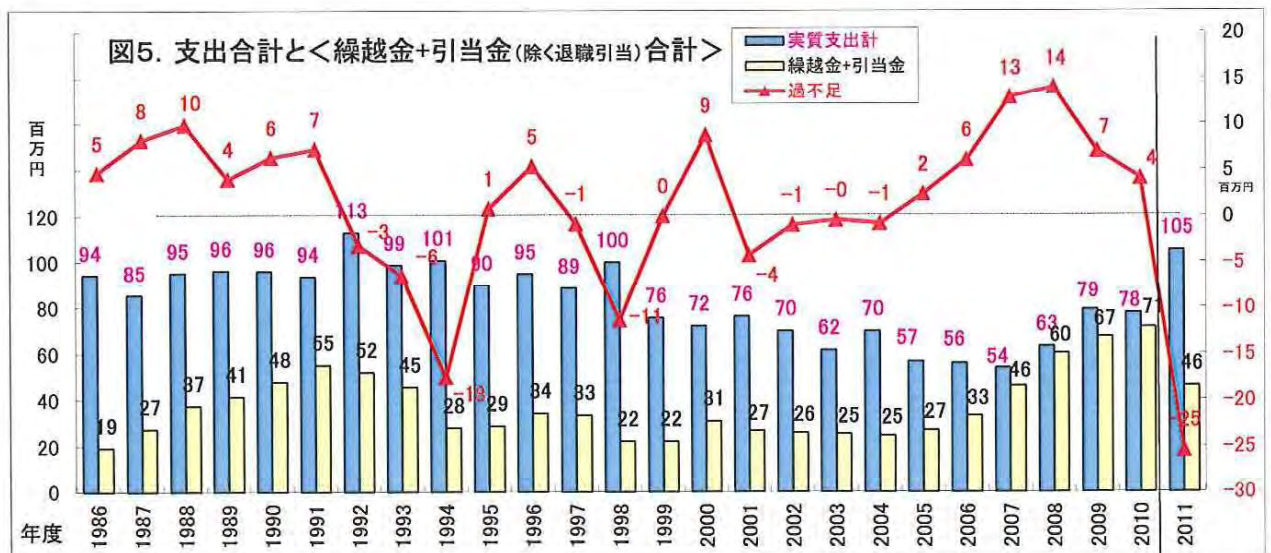
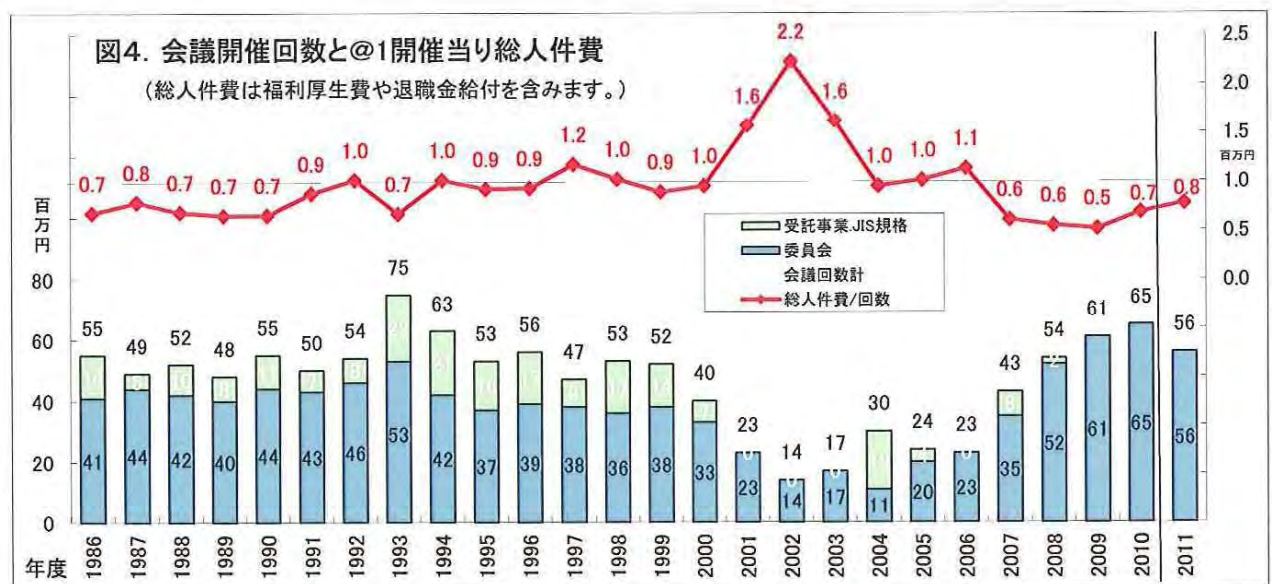
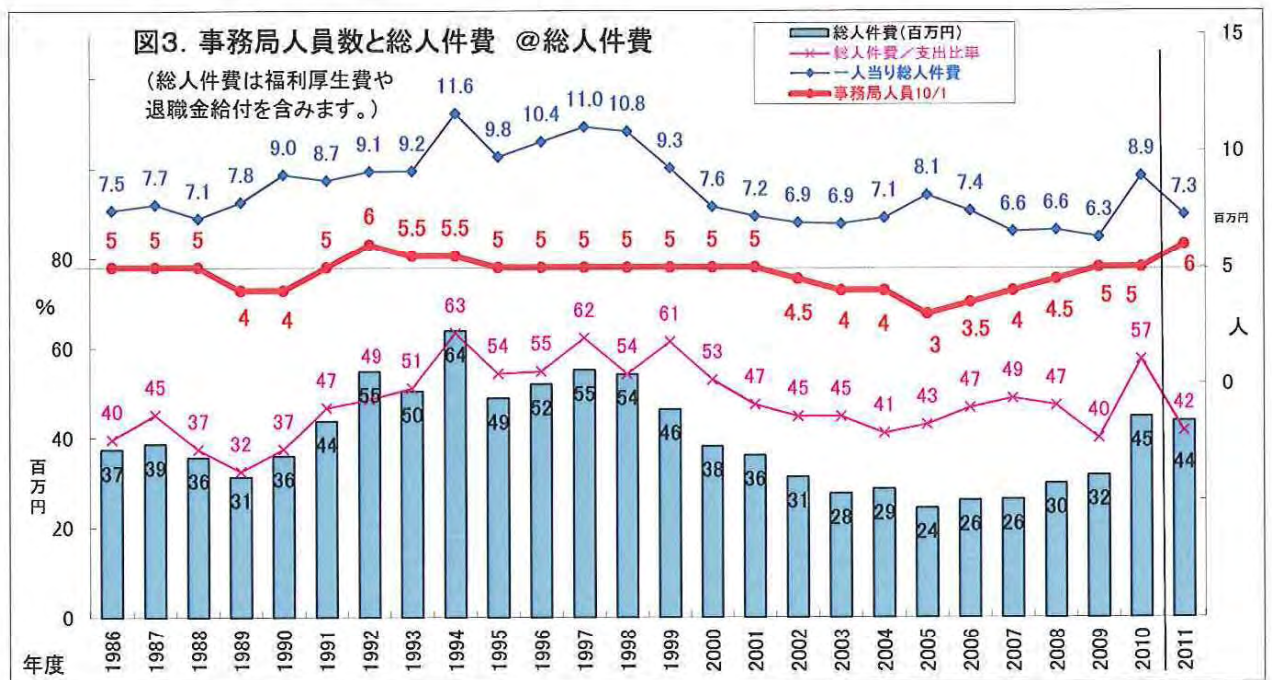
リーマンショックの08/9月度にホームページへのアクセス急落したが順調に拡大基調に戻った。
09/10月はMF-Tokyoで18,554人の訪問があり最高値だったが、その後横ばいとなっている。



2010年度事業報告と2011年度事業計画の説明資料

一般社団法人 日本鍛圧機械工業会の過去25年間実績と予算





一般社団法人 日本鍛圧機械工業会 会員と組織図

